

## 労働時間種別による病院勤務医の勤務意欲にもたらす影響に関する研究のお知らせ

東京大学大学院医学系研究科保健社会行動学分野では、「労働時間種別による病院勤務医の夜間休日労働の勤務意欲にもたらす影響の検討」という研究を行なっています。この研究は、様々な業務形態がある医師の業務時間のうち、どの業務が勤務意欲減退につながるかを明らかにし、実効性のある労働環境改善策を検討することを目指すものです。

### [研究の背景と目的]

医師の働き方改革の中で、労働時間に上限を設けるべきであるとの議論が行われていますが、そもそも医師の「労働時間」とはどの業務を含めるのかといった議論はあまりされていません。医師の業務には、診療行為等を行なっている実働時間以外にも、当直中の待機時間や自宅でのオンコール業務など、様々な形態の業務があり、「労働時間」と一概に扱うことはできません。先行研究によれば、必ずしも実働時間の長さのみが医師に負担をあたえるわけではない、ということが示唆されていますが、実際に特性が異なる労働時間を明確に分類して検討がされた研究はありません。

この研究は、特性が異なる業務時間が医師の勤務意欲に及ぼす影響について分析を行うことで、医師の勤務負担感に寄与する労働形態を明らかとし、働き方改革の中でどの「労働時間」の制限を考慮することが妥当かについて検証することを目的とします。

### [研究の方法]

この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守り、東京大学医学系研究科倫理委員会の承認の上実施されます。この研究は、平成 28 年 12 月に行われた、医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究（厚生労働科学研究費補助金 行政政策研究分野 厚生労働科学特別研究 課題番号 H28-特別-指定-032）において収集された調査票の個票データを使用し、医師個人の労働時間や勤務増減希望回数などのデータを用いて行う研究です。研究期間は、2018 年 9 月 18 日～2019 年 3 月 31 日を予定しています。

### [個人情報の保護について]

調査票は、回答時に個人が特定できる形式では回収されておらず、研究データは匿名化されています。よって、個人が特定できる状態で情報が取り扱われる事はなく、回答者の方の個人情報が漏れることはありません。研究結果については、個人が特定できない形式で、学会発表や論文で発表されます。

### [研究参加への辞退について]

回収時に個人を特定できるデータを収集していないため、参加辞退の申し出があった場合でも、申出者のデータを特定することができず、分析の対象外とすることはできません。そのため、研究

参加を取り消すことはできませんが、データは匿名化されており、研究の過程で個人が同定されることは起こり得ないことを申し添えます。

ご不明な点等がございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

[利益相反等]

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

[問い合わせ先]

東京大学大学院医学系研究科 保健社会行動学分野 佐野隆一郎 (大学院生・医師)

電話：03-5841-3514

E-mail：rsano@m.u-tokyo.ac.jp

住所：東京都文京区本郷7-3-1 医学部3号館3階 保健社会行動学分野